

2018年10月20日発行

エコ・リサ通信

第 104 号

特定非営利活動法人
埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

エコ・リサイクル研修見学会 2018 報告



平成30年8月23日（木）

研修見学会が実施されました。
コープネットエコセンター（野田市）・
ミュージアムパーク茨城県自然博物館
（坂東市）・キッコーマン醤油工場「も
のしりしょうゆ館」（野田市）の3ヶ
所に行きました。

コープネットエコセンター（野田市）

報告: (株)日生グリーン 大谷和也氏

今回が初めての研修見学会の参加となります。
大谷と申します。

千葉県野田市にあるコープデリ連合会エコセンター様の施設
を見学させていただきました。
施設内の会議室にてコープデリ連合会の概要からリサイクル
品の今後までお話いただきました。



上記の写真はコープデリ連合会のリサイクルシステムです。宅配する配送便や商品を納品する便を上手に使い運送の面でもなるべく車を余計に使わないという工夫がなされています。

コープデリ連合会エコセンターというのは、東京埼玉千葉の生協が一緒になって運営するコープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ（まだ運営には参加していません）が行うリサイクルをコープデリ連合会で受託して運営するリサイクル事業の総称。

元々は例えばいばらきコープで回収したリサイクル品はいばらきコープ内でのリサイクルを任せるといった形だったそうです。

しかし今現在は生協様が運営する店舗（約 155 店舗）と宅配センター（120 箇所の一部）から出るリサイクル品をコープデリ連合会にてリサイクル一括管理。集めたりサイクル品を効率的に運送できるよう圧縮等の作業を行いコストの削減に成功したようです。



率に成功したようです。

コープデリ連合会には様々なリサイクルするための機材がそろっておりまして。福祉施設などとも連携し障害者雇用にも力を入れ、日々再生品を作る原料を供給する拠点として注目されています。

今回はあまりみることがないリサイクルの様子と一緒に機材の写真をお載せしていきたいと思えます。



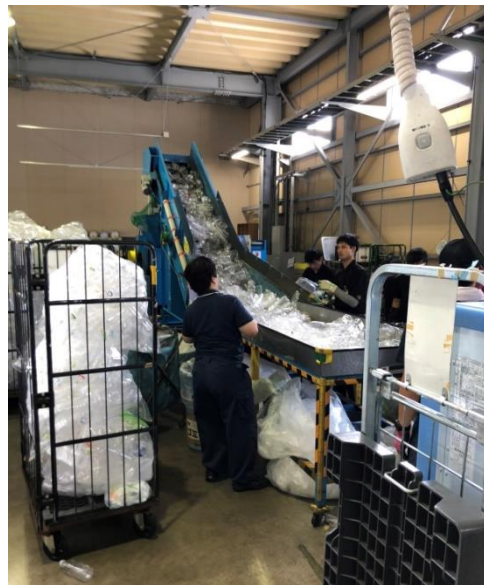
こちらから運ばれたペットボトルは圧縮され別のリサイクル工場に持っていき、繊維等さまざまな原料に生まれ変わるそうです。

税理士法人 T&M ソリューション

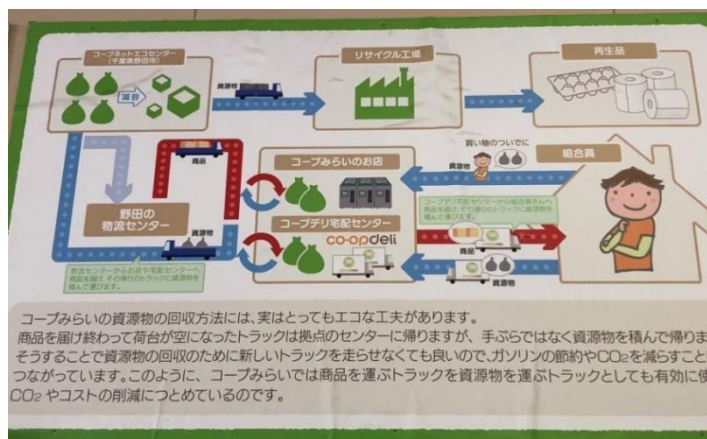
毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

こちらはペットボトルの圧縮前に作業員の方々が不純物、ペットボトル内のゴミ、キャップを外すなどを手作業できれいに取り除いている様子です。地道な作業をしなければきれいな再生品はできません。ペットボトルや空き缶などは多くの店舗、個人の方々の日々の生活から排出されますのでリサイクルするという気持ちを少しでも持ち、できるだけ手間をかけずに作業して頂けるよう考えねばならないと改めて実感いたしました。



発泡スチロールなどは上記の機材で破碎し、さらに溶かしたものを板状にして減容して搬出している様です



コープグループではリサイクルする過程でのCO₂の削減を実行し、エコセンターでのCO₂の排出量をゼロにするという地球環境にも配慮した素晴らしい事業だと思いました。

今回初めてご参加させて頂いた研修見学会でしたが、このようなリサイクル施設を見学させて頂き改めてゴミを削減するという事に私自身も積極的に取り組んでいかなければと強い関心を持つことができ、大変有意義な時間でした。またぜひ参加させて頂きます。



ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (坂東市)

(報告 宮田)

茨城自然博物館では自己紹介を兼ねながら館内のレストランで昼食を食べて見学開始。館内の見学は自由行動で地球誕生から46億年の自然や生物の進化について5つの展示室を見学する事が出来ました。



①進化する宇宙 ②地球の生き立ち ③自然の仕組み ④生命の仕組み ⑤人間と環境

まるで映画の中に入ってしまった様な感覚になるマンモスや恐竜など、様々な趣向を凝らした展示には圧倒されました。見学者の皆さんは限られた見学時間の中で関心のあるものを絞って見たと思います。特に、生きた化石と言われている“シーラカンス”(魚類)について東工大研究チームの調査研究で、体液に手足の出る遺伝子と海中では必要ない匂いの遺伝子が存在することを発見したことや、動物の視線がどう見えるかを体験した事、新たに勉強になりました。

また自然博物館には、15.8ha(東京ドームの約3.5倍)の変化に富んだ自然と、それを楽しく体験するための野外施設もあります。非常に広範囲で1日でも見きれない内容でした。

キッコーマン醤油工場「ものしりしょうゆ館」(野田市)

キッコーマンは今から約350年前の江戸時代に現在の野田市で醤油づくりが始まりました。野田は原料となる大豆や小麦が近隣の関東平野で沢山収穫できるため、地理的に醤油づくりに適した土地でした。また利根川を利用し船で塩を運び、そして江戸が近いので醤油の消費も多く地の利を生かして大いに繁盛し現在に至っています。



今回、工場内での発酵期の作業は見学出来ませんでした。熟成されたもろみのサンプルを見て香りを体験する事が出来ました。原料の大豆は茨城とアメリカから、小麦は群馬、アメリカ、カナダ、塩は国産とメキシコが多いとの事でした。



醤油が出来あがるまで！(ビデオ説明)

- ①発酵期(大豆+小麦+種麴+食塩水=仕込み)
- ②熟成期(もろみ)
- ③仕上げ(搾る・検査・容器に詰める)

食糧自給率が低い日本では海外からの原料を使用しなければ製品が出来ない事情が見えました。館内ではお土産コーナーでのお買い物、お醤油の味くらべも出来ました。

傘布が素敵な旅行グッズに変身！

撥水性の汚れ防止の巻きスカートタイプです。バッグの隅に1枚入れておけば、ひざ掛け、エプロン、スカーフ、泥除け、雨除け、寒さ対策など、使い方は工夫次第。

災害時にも大変役立つ傘布スカート、ミシンを使わず三ヶ所縫いとめるだけなのでぜひ作って備えておきましょう。

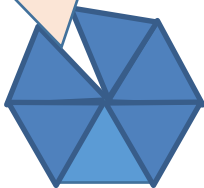


用意する物

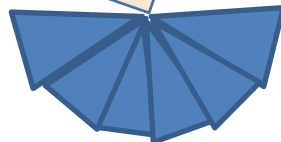
取り外してきれいに洗った傘布、

40センチ程度のリボン2本、直径1.5センチ以上のボタン、針と糸
作り方

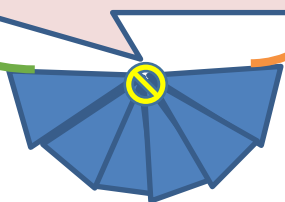
① 骨から外した傘布の1か所だけ、糸を抜く



② 中心部分をしっかりぐし縫いし、縫い目が隠れるようボタンやブローチで留める



③ ほどいた傘布の端に40センチ程度のリボンを2本留めつける



傘を捨てる時、骨と布の分別はできていますか？
適切な分別ができていない傘は、環境センターで作業員の手によって分別をしなければなりません。最近では12本の骨の傘が増えてきており、作業員の手間が増えつつあります。
買うときはお気に入りの柄を選ばれたと思います。ぜひ、簡単リフォームして長く使い続けてみませんか？

食品ロス削減のためフードバンクを支援しています！！

1 食品ロスの現状

食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」と言い、日本では平成 27 年度推計で年間 約 646 万トンもの食品ロスが発生しています。

日本の食品ロスの 55% (約 357 万トン) は食品製造業、小売業、外食産業などの食品関連事業者から発生しており、パッケージの印字ミスなどで出荷できない商品や売れ残り、規格外品、食べ残しなどがあります。

2 フードバンクとは

品質には問題ないのに廃棄されてしまう食品（食品ロス）を無料で譲り受け、福祉施設等に無償で提供するボランティアの活動・団体のことで、埼玉県は食品の供給面からフードバンクを支援しています。

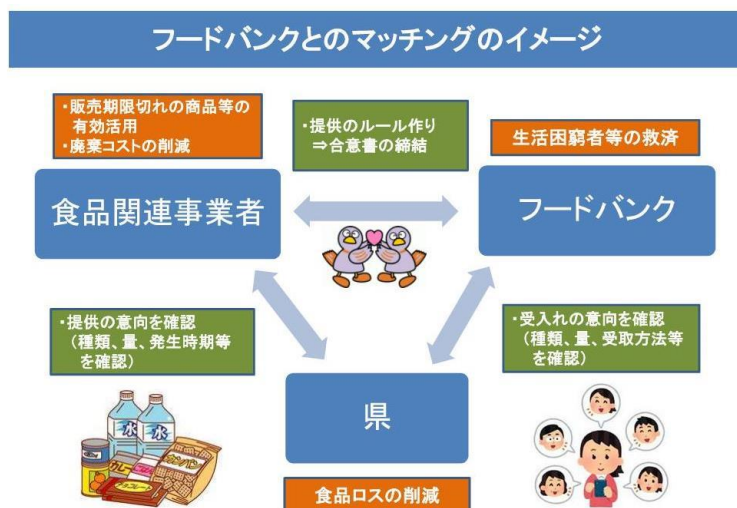
3 フードバンクの支援

食品ロス削減の取組のひとつとして、平成 29 年度から食品関連事業者とフードバンクとのマッチングを実施しています。

平成 29 年度は県内の食品製造事業者とのマッチングを実施し、菓子メーカーからフードバンクへの食品提供に結び付けました。

多くの食品関連事業者にフードバンクへの理解を深めてもらうため積極的に事業を進めてきたところ、今年度、新たに食品製造事業者 2 社からフードバンクへの食品提供が実現するなど、食品関連事業者にフードバンクへの理解が進み始めています。

平成 30 年度は、県内の食品小売事業者を対象にフードバンクへの食品提供に関する意向調査を実施し、フードバンクに関心があると回答した事業者を訪問してフードバンクへの食品提供への可能性を探っています。



今後も引き続き、企業等にフードバンクへの食品提供を働きかけていきます。

4 災害備蓄食品の活用

定期的に更新する災害備蓄食品の活用を通して食品ロス削減につながる活動として、埼玉県では企業に災害備蓄食品の提供を働きかけています。

平成 30 年度は埼玉県と包括連携協定を締結している企業に呼びかけ、1 社からフードバンクにアルファ米などの災害備蓄食品を提供していただきました。今後も引き続き、企業等に災害備蓄食品のフードバンクへの提供を働きかけていきます。



さくらエコ・フェスタ開催のご案内

タイトル：桜エコ・フェスタ2018

展示・イベント：2018年11月25日(日)10時～16時

会場：さいたま市桜環境センター環境啓発施設（1・2階・屋外）

主催：桜エコ・フェスタ実行委員会

参加団体：桜環境センター利用団体 他

同時開催：自主製品見本市（さいたま市障害者総合支援センター）

♡展示ブースにエコ・リサが参加いたします。皆様遊びに来てください。



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも
さいたま営業所 ☎048-640-4343 FAX048-644-7674



一般
社団法人 **繊維リサイクル協会**

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>



エコ・リサ学習会のお知らせ

～遺伝子組換え食品講演会～

遺伝子組み換えは通常の品種改良と異なり、全く種が異なる遺伝子迄組み込まれ、それが様々な副作用として現れる危険な技術です。

アメリカやEU諸国では遺伝子組み換え食品についての規制が厳しくなりつつありますが、日本の規制は極めて不十分と言わざるを得ません。

皆様方もこの実態を知って声を上げて行きましょう。

講師：上領 園子氏（エコ・リサ理事 埼玉県環境アドバイザー）

開催日：2018年12月20日（木） 13:00～15:00

会場：大宮中部公民館 調理室 定員35名 資料代：300円

※詳しくは同封のチラシをご覧ください

快適な環境づくりのお手伝い。
村岡営業本部 ☎048-537-0555
http://www.510goto.co.jp

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般

編集後記：エコ・リサ通信 104号、研修見学会のご報告です。改めて、ごみを減らすことの大切さを実感できました。もちろん、お楽しみも盛り込まれて、恐竜には圧倒されましたね！継続が大切ですから、楽しみながらエコを続けていきましょう！轟 涼